

**呼吸器内科初期研修カリキュラム**  
**カリキュラム責任者：梁 尚志**

**<一般目標 GIO: General Instructive Objective>**

- ① 一般内科医としての基本的な診療技術を習得する。
- ② 呼吸器病学における専門的な知識や技術を習得する。
- ③ 呼吸器内科医として必要な基本的診療が一人で行える。

**<行動目標 SBO: Structured Behavioral Objective>**

- ① 内科医として、必要な情報収集ができる事
- ② 内科医として、理学所見を適切に取れる事
- ③ 胸部聴診所見を正確に取れ、表現できる事
- ④ 胸部画像（単純X線、CT）の読影ができ、代表的鑑別診断を述べる事
- ⑤ 呼吸機能検査の実行と結果分析ができる事
- ⑥ 動脈血ガス検査の適切な実施と評価ができる事
- ⑦ 胸腔穿刺の適切な実施と評価ができる事
- ⑧ 胸腔ドレナージ手技や管理法の習得
- ⑨ 気管支鏡の基本操作、および補助手技を習得する事
- ⑩ 気道確保手技の習得
- ⑪ 呼吸管理法の習得（酸素療法や、NPPVを含む人工呼吸管理法）
- ⑫ 睡眠呼吸障害の理解と評価、管理法を習得する事
- ⑬ 呼吸器感染症に対する抗生剤治療や、抗結核、抗真菌剤治療等ができる事
- ⑭ 呼吸器悪性疾患に対する基本的な評価や治療計画ができる事
- ⑮ 肺癌に対する化学療法と副作用対策ができる事
- ⑯ 気管支喘息およびCOPDにおける長期管理や急性増悪時の対応ができる事
- ⑰ 間質性肺炎の鑑別診断（膠原病肺や薬剤性肺炎等含む）への理解
- ⑱ 副腎皮質ホルモン剤や免疫抑制剤の適切な使用や副作用の理解
- ⑲ 加齢に伴う機能障害への理解
- ⑳ 呼吸器疾患の終末期患者への対応

**自己評価**

5:十分満足にできた 4:十分にできた 3:できた 2:不十分だった 1:できなかった

<方略 LS: Learning Strategies >

① 病棟研修

- ・ 受け持ち患者の診察、診療録の記載、病歴要約の記載を行う
- ・ 受け持ち患者の処置を行う
- ・ 症例検討会で、症例提示を行う

② 検査

- ・ 受け持ち患者の診療に必要な検査を行う
- ・ 気管支鏡検査において、基本操作を行う

③ 症例検討会(カンファレンス)

- ・ 受け持ち患者の症例提示を行う
- ・ 病態、問題点、治療について理解し、症例提示と検討を行う

④ 病理解剖

- ・ 受け持ち患者の病理解剖では、主治医として臨床経過を説明する
- ・ 受け持ち患者の CPC で症例提示を行う

⑤ 症例報告書の作成

- ・ 担当した患者の概要について、レポートを提出する

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8-9 時						
午前	病棟	病棟	外来	病棟	病棟	
午後	人工呼吸器回診	病棟	病棟	内視鏡検査	病棟	
夕方				カンファレンス		

**<研修評価 EV: Evaluation>**

- ① 受け持ち患者の症例提示と検討において指導医と面接を行い、理解度・達成度を評価する
- ② 胸部X線・CTの読影、気管支鏡検査や基本手技の実施を通じて、検査への理解度・達成度を評価する
- ③ 症例検討会時に、複数の指導医で評価する
- ④ 病歴要約は指導医が監査する
- ⑤ 研修医は必要な自己評価を行う